

寮に11年住んだ!!—某氏小史

20世紀の残り者

『私は、寮に11年住みました。』

という、「ほらみる、寮なんかに入るから、大学に長いこと行くことになるんだ。寮なんてやめとけ。」という話をされるかもしれませんが、しかし、私は、学部は4年、修士課程は2年と、少なくとも修士までは順調に卒業できました(博士課程は、たいへんなのです(>\_<))(注1)。

私の思ったこと、したことをまとめてみました。今後入寮するかもしれない読者の参考になれば幸いです。

#### ■ 0年目(20世紀後半)

父親が、『大学の寮の友達はいまだに何人もやり取りがあるが、学部の友達は、数えられるほどしかいない。』と話していました。寮って楽しいんだろうなと思いました。

#### ■ 1年目(学部1回生)(1999年)

入学試験の後に、吉田寮を見に行きました。『え？こんなところに住めるの？なんかへんな臭いがするし…(注1)』と思いました。『吉田寮は、村的な感じでみんなとの交流があるけど、熊野寮は、個々人が独立している感じかな。』と、1年先に入学・入寮したM氏の案内を聞き、吉田寮への興味をかきたてられました。

入試後、暇だったので入寮案内を繰

り返し読みました。おもしろそうな場所だと思わせる紹介もあったけれど、どう解釈したらいいのかよくわからない文章もありました。紹介文を読む限り、寮は環境が悪そうなので、勉強ができるか、真剣に悩みました。

仮に、寮があまりに退廃的でどうしても向かなかつたら、それから下宿とかを探そう、と考えて、さしあたって、吉田寮に入寮することにしました。この際に考慮したポイントは2つです。

- 進学したかったので、固定費(衣食住など)を減らしたい。
- 前述の親のセリフ。

入寮しようと思ったのはよいですが、やはり、銀杏並木を歩くのはこわかったです。ここで、ヘルメットとか棒とか持った人が出てきて、突然、誰何・詰問されるのかな？と。でも、そんなことは杞憂でした。

入学式の前々日くらいに大部屋に仮入寮すると、既に人が大勢いて寝る場所がありませんでした。困っていると、寮生が敷布団を1/3ずつ除けてくれました。そこで、そこに敷布団を2/3分だけ敷いて寝ました。寮生は優しいな(注3)と思いました。以後この印象は、変わっていません。連日、早朝から早朝まで、薄い壁1枚隔てた向こうで、当時流行していた Dance Dance Revolution のゲーム音楽と、そのステ

ップが聞こえていましたが、なぜか眠ることができました。幸運にも、私は、退寮した人の部屋に割り振られていたので、そのような環境(注 4)からは3週間で免れることができました。

さて、寮に入ると、何らかの自治活動に関わることになっています。私は、庶務部集金係となりました。結局、ずっとその仕事をしました。

予想外にも、勉強に関する苦労はありませんでした。同学部の4回生の寮生のN氏に単位のとり方のコツを聞き、科目・教員の選択の参考にしました。さらに、文化部室という共用の部屋に試験の過去問題が大量にファイル(注 5)されていました。それを利用し、1年目は54単位を得ました。(注 6)。

寮では、各種イベントも多いです。初めての寮祭(注 7)では、焼き鳥屋(注 8)とカレー屋(注 9)をしました。寮のイベント以外では、夏に、寮生とともに自転車で琵琶湖までいき、南湖を1周したり、ドイツ人の寮生たちと溪流に行って泳ぎ岩の上で野宿したりしました。日常的には、たまり部屋(S11)(注 10)で呑んだり、麻雀部屋でマーじゃんしたりしました。

#### ■ 2年目(学部2回生)(2000年)

1年目よく勉強したので、ひまでした。なので、先述のN氏に薦められた学

部の専門科目をいくつかとってみました。

研究については、もともと、遺伝子などの室内実験に興味を持っていました。しかし、このころ、寮生のI氏にそのかされて、キノコ採取をするサークルに入り、野外の現象のおもしろさに目をむけることになりました。

また、研究者志望の寮生のK氏に薦められて、研究者になれなかった場合に備えて教職科目をとることにしました。物理や化学などの教職に必要な理系の科目を取るにあたって、ここでも工学部の寮生のO氏に話を聞いて科目・教員の選択の参考にしました。

この頃、現在まで引き続いたまり部屋(C14)が開設されました。当時、毎日、朝も昼も夜も、モーニング娘。のDVDがかかっていました。発泡酒を呑みながらずっと、DVDを見ているこの人たちの将来は、大丈夫だろうか?と思っていました。でも、そのうちの一人は、京大の先生になりました。びっくりです。その後、次から次へとマンガなどが入荷されました。一人暮らしでは絶対に触れなかったであろう日本文化の一側面に触れることができました。

食事についても心配はありません。吉田寮生であれば熊野寮の食堂が利用できます。熊野寮の食堂は、安くて

(吉田寮生は昼 290 円、夕 420 円(当時))  
大量の野菜が食べられたので、当時、頻  
繁に利用しました。

夏休みには暇だったので野宿をし  
ながら寮生と自転車で3泊4日の福井  
旅行をしました。

#### ■ 3年目(学部3回生)(2001年)

庶務部をまとめる係である庶務部  
長をしました。

先述の I 氏に薦められて、野外実習  
に参加しました。そして、野外調査を  
おこなうフィールド系の研究が面白  
いと思いました。4 回生の研究室は、フ  
ィールド系の分野を選択しました。

#### ■ 4年目(学部4回生)(2002年)

集金係をまとめる係をしました。多  
額のお金を取り扱って緊張しました。

寮生 4 人と台湾に卒業旅行に行き  
ました。

#### ■ 5-6年目(修士1-2回生)(2003-4年)

大学院の研究が、そこそこ忙しかっ  
たです。しかし、頻度は少ないとはい  
え、同時期に入寮した寮生とマーシャ  
ンしたり、日本海に釣りに行ったりし  
ました。

#### ■ 7年目(博士1回生)(2005年)

同時期に入寮した寮生の大半が卒  
業などしていなくなったので、勉学に  
打ち込むことになりました。以後、た  
まり部屋の寮生と付き合うことが多

くなりました。

#### ■ 8年目(博士2回生)(2006年)

虫垂炎にかかって2週間入院しまし  
た。寮生が病院まで送ってくれました。  
毎日、寮生の誰かが見舞いに来てくれ  
ました。寮の事務員さんが、洗濯物な  
どを取りに来て洗濯してくれました  
(注 11)。退院後は、数日間おかげを作っ  
てくれました。大感謝です。一人暮ら  
しでなくて良かったと思いました。

#### ■ 9-10年目(博士3回生)(2007-8年)

寮と研究室との往復だったので、特  
筆すべきことはありません。

寮で培ったコンピュータに関する技  
術を活かして某所でアルバイトをし  
て生活費としました。正規の終了年限  
を越えると奨学金の貸与がなくなる  
ので、低廉な金額で住むことができる  
寮のありがたみが身に染みしました。

#### ■ 11年目(博士3回生)(2009年)

就職が決まりました。長年お世話に  
なった寮に恩返しがしたくなって、土  
木作業(別紙参照)の手伝いや入寮募集  
パンフ(今読んでるこれ!!)作成をして  
います。

これまでの経験を踏まえ、寮で生活  
する際のポイントをまとめてみます。

○ 自分を律すること

○ 勉強している人(とくに先輩)をみ  
つけて、単位/試験情報を聞くこと

次に、寮に入るメリットを挙げます。

#### ◎ 経済面

多方面からたいへん助かりました。家賃は低廉です。きっと、寮なしでは、ここまで進学できなかったことでしょう。さらに、テレビ、冷蔵庫などの家財道具も買わずに済みました。また、高価な教科書や書籍をもらったり、マンガを借りたりすることができました。

#### ◎ 勉強面

自分の専門を深めるだけでなく、他の学部の人のお話も聞くことができた。たいへん勉強になりました。

#### ◎ 人間面

父親に聞いた通り、学部の友人よりも寮の友人の方が多くでき、そしていろいろ深い話ことができました。今なら、メールや電話といった連絡手段があるので、いつでも連絡を取ることができます。この他分野にわたるネットワークを、今後私がどのように活かすことができるかがたのしみです。

また、多種多様な人を見られて人間の幅が広がりました。

書いてみて気がついたのですが、やはり、1,2 回生の寮の思い出が多いですね。大学の学部の思い出の大半は、寮の思い出です。そして、その思い出は、今でも昨日のように鮮明です。

上述の経験談のうちどれか一つでも気になれば、寮に見学に来てみてく

ださい。もしかすると、だれかさんのように、思いのほか、長いこといることになるかもしれませんよ(\*^-^\*)。

#### 【脚注】

- 注 1) だからといって、留年が唾棄すべきものであるというつもりは、まったくありません。むしろ、そのような人こそ、話題や経験が豊富でおもしろいものです。
- 注 2) よく誤解されるのですが、寮に特有のにおいは木造の床への油引きの匂いです。酒やごみの臭いもすることもありますが、頻度は少ないです。
- 注 3) うたた寝したときに、布団をかけてくれそうだから、入寮した、と話す人もいました。
- 注 4) しかし、そのような環境が気に入って、大部屋に 1 年住んでしまうつわものもいます。
- 注 5) 当時、過去問を入手するにはかなり苦労が必要でした。
- 注 6) 約 126 単位で卒業できるので、そこそこ良好です。
- 注 7) 吉田寮では、5 月末頃に寮祭がおこなわれます。
- 注 8) 人民酒場とは、大学構内にテントを出し、ほぼ原価で酒や料理を提供し、呑むという寮祭企画です。
- 注 9) バラバーラとは、寮食堂の食堂機能を復活させる寮祭企画です。
- 注 10) たまり部屋とは、部屋住人が合意の上で、部屋住人以外の方が自由に部屋に来てよい部屋です。現在もこのたまり部屋には、頻繁に元寮生が訪れます。
- 注 11) 当たり前ですが、本来の業務とはまったく関係ありません。